

Maxon

製品は、厳重な品質管理のもとに生産されていますが、万一運搬中の事故などにもない、ご不審な箇所又は破損などのトラブルがありましたらお早めにお買い上げいただきましたお店又はアフターサービスルームにお申し付け下さいますようお願い申し上げます。

※規格及びデザインは改良のため予告なく変更することがあります。

Maxon
株式会社 日伸音波製作所

Maxon

6 CHANNEL MIXER
MODEL RM-60

EXPANDER MODULE
MODEL RM-100EX

取扱説明書

このたび、MAXON 6チャンネルミキサーRM-60、エキスパンダーミキサーRM-100EXをお買上げいただきまして誠にありがとうございます。マクソンの専門家グループが「音の良いミキサーシステムを創る」という姿勢で追求して完成させたミキサーシステムです。ご使用にあたりミキサーの性能を十分に発揮させるために「取扱説明書」を最後まで、お読みいただき正しい使い方により末長くご愛用くださるようお願い致します。

なお、本取扱説明書は RM-60, RM-100EX 両機種をかねています。

〈目次〉

| | |
|-------------------------|---|
| ご使用前に..... | 2 |
| ブロックダイアグラム..... | 3 |
| RM-60パネルの名称と使い方..... | 4 |
| RM-100EXパネルの名称と使い方..... | 6 |
| RM-60, RM-100EX接続図..... | 8 |
| 定 格..... | 9 |

〈特長〉

- 6インプット、2アウトプット、ステレオミキサーです。
- 完全ステレオ方式を採用しているためPANPOTにより簡単に音像の定位ができます。
- モニター送り及びエフェクト送りが各1系統あります。
- スタッキング端子付ですのでEXPANDER MODULE RM-100EXを接続すると16チャンネルミキサーとなります。
- 各チャンネルともにTRIMが30dB連続可変ですので、どのような入力にも対応できます。
- LEFT, RIGHT MASTERにLOW CUTフィルターを内蔵しています。
- ヘッドホーンにより出力をモニターできます。
- 本機は、19インチEIA標準ラックマウント規格に適合しています。

〈ご使用上の注意〉

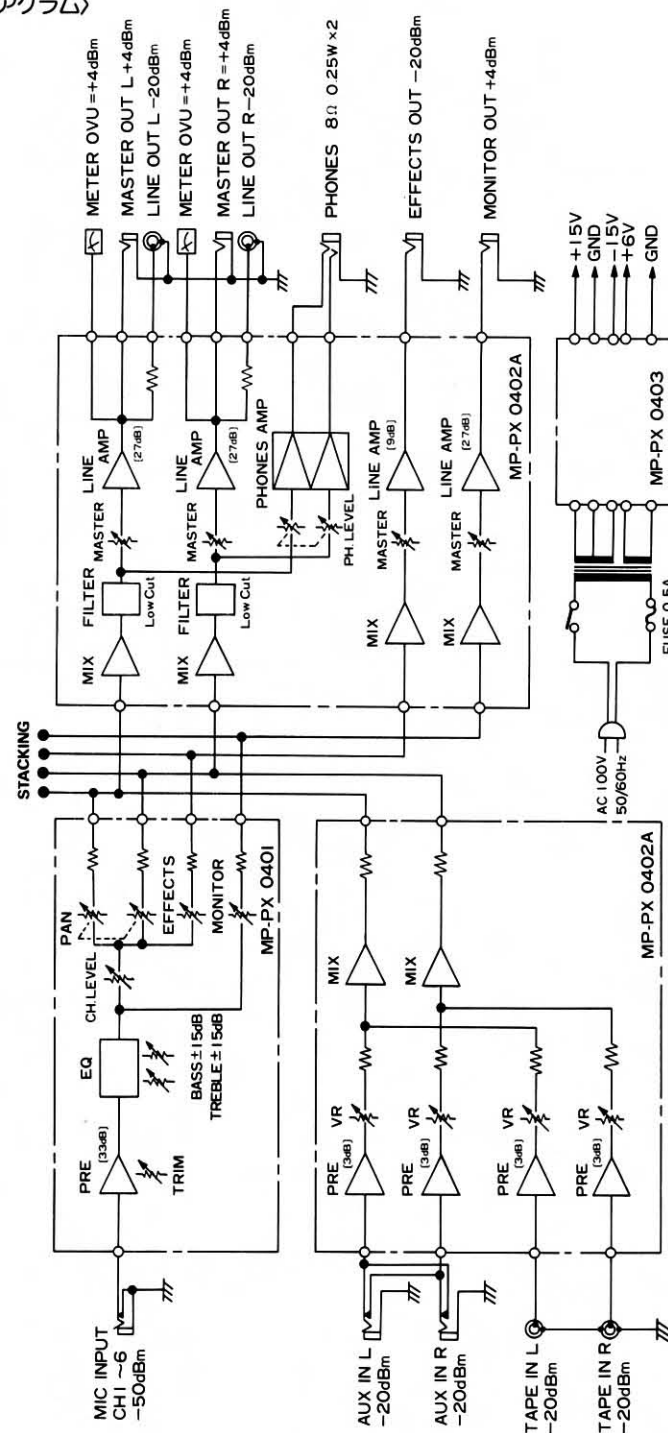
いつまでも最良の状態でお使いいただく為に正しい使い方をお願いします。

- 使用電圧はAC（交流）100Vです。クーラーやセントラルヒーティングの電源は単相200Vになっております。誤って、この電源に接続すると感電、発煙などのおそれがありますから十分注意をお願いします。海外でのご使用になられる場合は当社又は当社サービス機関にご相談下さい。

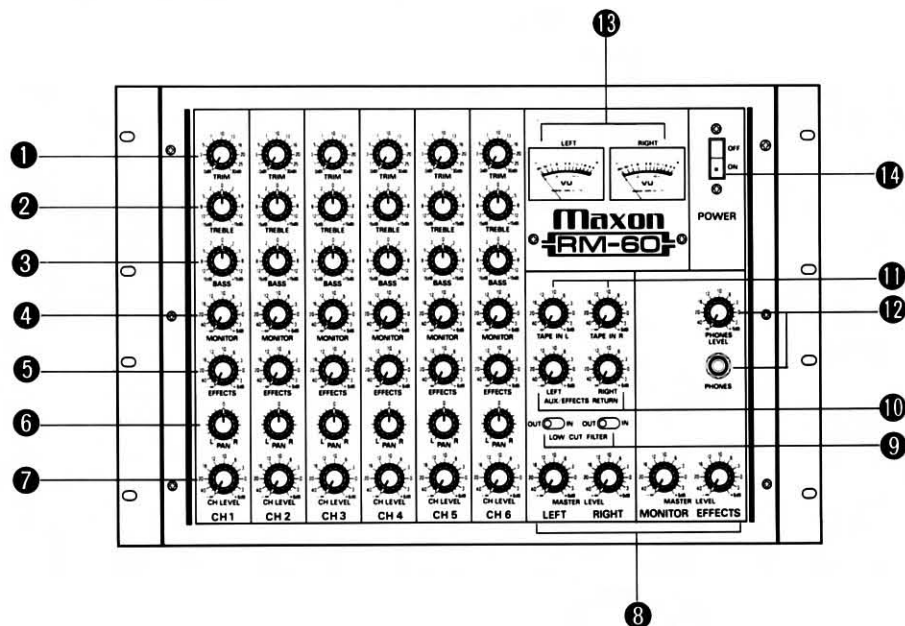
- 電源コードについて。
電源コードを強くひっぱったり、むりに折り曲げたり巻き足したりすることは、コードがいたみ感電や火災の原因になりますので絶対にさけて下さい。
- 温度の高い場所での使用は避けて下さい。
直射日光の当たる場所やストーブなどの近く又は温度の上がる場所での使用はさけて下さい。
- 水や湿気が多い場所での注意。
機器内部に水が入ると、感電や故障の原因になります。花瓶、コアラ等水の入ったものをケースの上に置くことはさけて下さい。また水害などで水が機器に入った場合は、ただちに電源プラグを電源コンセントから抜きとり購入店または、当社サービス機関にご相談下さい。
- 化学洗剤やシンナー類の使用は避けてください。
塗装や印刷など文字が消える場合がありますから柔かい布で乾拭きしてください。
- 電源のON/OFF
ボリュームを大きくしたままでの電源スイッチをON/OFFや電源スイッチON時の電源プラグを抜き差しすると、スピーカーに大きな負担がかかります。おそれがありますので、ボリュームをしばらくOFFしてください。
- 改造はしないで下さい。
本器は最も良い状態で調整されていますので、本体内部に変更や改造をしないでください。またケースなどをはずし、内部にふれることはさけてください。内部点検はサービスマンにおまかせください。

〈ブロックダイアグラム〉

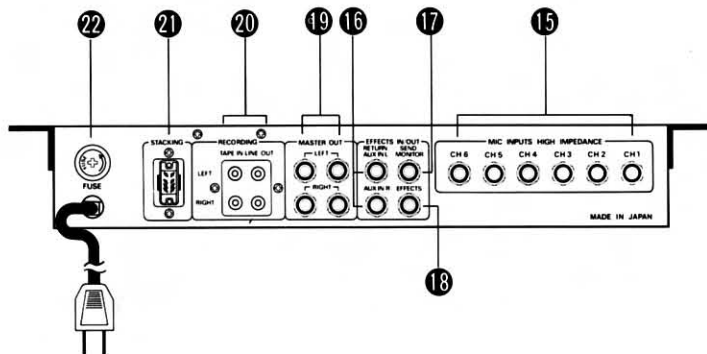
RM-60 BLOCK DIAGRAM



〈RM-60 コントロールパネルの名称と使い方〉



〈RM-60 背面パネルの名称と使い方〉



〈RM-60 パネルと背面の名称と使い方〉

① TRIM

各チャンネルの入力レベルに合わせるボリュームです。規定入力レベルを-50 dBm〜-20 dBmまで連続的に可変します。最大入力レベルは+12 dBmです。入力レベルに合わせて適正な位置にセットしてください。

② TREBLE

高域の音質をコントロールします10 KHzにて±15dB可変できます。また0のポジションでフラットになります。

③ BASS

低域の音質をコントロールします100Hzにて±15dB可変できます。また0のポジションでフラットになります。

④ MONITOR (PRE VOLUME)

チャンネルレベルボリュームの前から信号を取り出し、各チャンネルのモニター送りレベルを調整します。

⑤ EFFECTS (POST VOLUME)

チャンネルレベルボリュームの後から信号を取り出しエコー等効果音機器に送る各チャンネルの送りレベルを調整します。

⑥ PAN

各チャンネルの入力信号をL(左)R(右)に振り分け音像の定位をします。

⑦ CH LEVEL

LEFT, RIGHT MASTERのミキシング量をチャンネルレベルボリュームで音量バランス調整します。

⑧ MASTER LEVEL (LEFT, RIGHT, MONITOR EFFECTS)

各チャンネル信号をミキシングした後、総合送りレベルを調整します。

⑨ LOW CUT FILTER

マイクの近接効果や風の音等不用な低音をカットします。100Hz 12dB/OCT

⑩ AUX/EFFECTS RETURN (AUX IN LEFT, RIGHT)

エコー等効果音機器からの入力信号を調整しLEFT(左)RIGHT(右)へミキシングされます。

⑪ TAPE IN (LEFT, RIGHT)

テープデッキからの入力信号を調整しLEFT(左), RIGHT(右)へミキシングされます。

⑫ PHONES

ヘッドホンレベルにて音量を調整します。

⑬ VU METER (LEFT, RIGHT)

LEFT(左) RIGHT(右) 送りレベルを表示します。OVU=+4dBm

⑭ POWER SW

電源スイッチです。ONで電源が入りVUメーターのランプが点灯します。OFFで電源が切れます。

⑮ MIC INPUTS

CH1〜CH6の入力端子です。マイクロホン等-50dBm〜-20dBmの規定入力信号を接続してください。

⑯ EFFECTS RETURN (AUX IN LEFT, RIGHT)

エコー等効果音機器からの信号を接続してください。プラグを片側接続した場合モノ入力として使用できます。両側接続した場合はステレオ入力として使用してください。

⑰ MONITOR SEND (OUTPUT)

ホールドバック等モニター送りに使用してください。

⑱ EFFECTS SEND (ECHO OUTPUT)

エコー等効果音機器を接続してください。

⑲ MASTER OUT (LEFT, RIGHT)

LEFT(左) RIGHT(右) 出力が各二系統とれます。定格出力レベルは+4dBmです。

⑳ RECORDING

テープデッキ等を接続して下さい。

㉑ STACKING

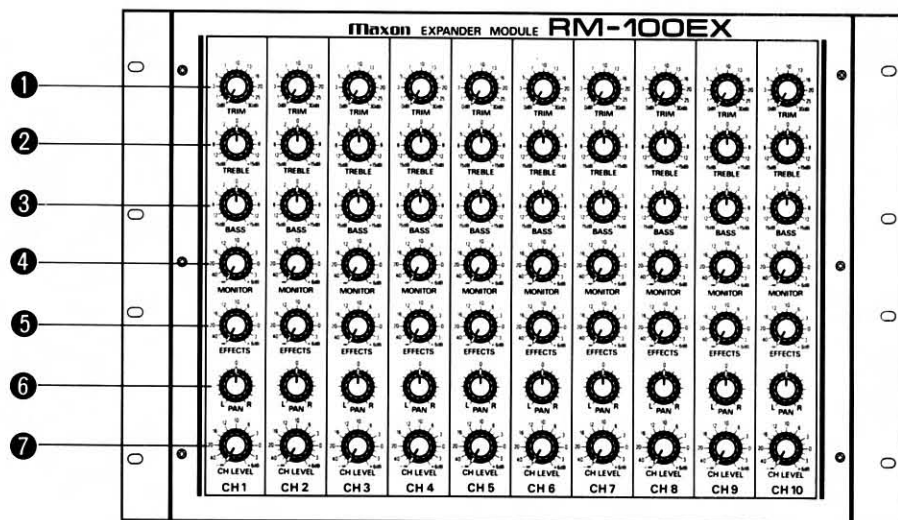
EXPANDER MODULE RM-100EXを接続してください。

※注意 接続時は電源をOFFにして接続してください。電子部品などを破損する場合があります。

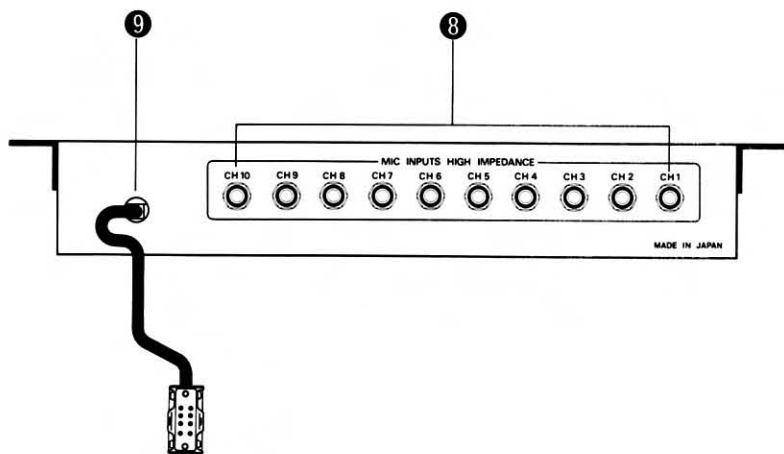
㉒ FUSE

定格125V 0.5Aのヒューズを入れて下さい。ご使用中のヒューズの断線は故障等の原因によるものですから、ご購入店が当社サービス機関へご相談ください。

〈RM-100EX コントロールパネルの名称と使い方〉



〈RM-100EX 背面パネルの名称と使い方〉



〈RM-100EX ご使用にあたって〉

- RM-100EXはEXPANDER MODULEですからRM-60のSTACKING端子に接続してご使用してください。
- RM-100EXは電源が内蔵されていません。RM-60に接続することにより電源が供給されます。
- RM-100EX単体では使用できません。
- RM-100EXとRM-60を接続したり外す時は電源スイッチをOFFにして使用してください。内部の電子部品(IC 抵抗コンデンサー)などが破損する場合があります。
- STACKING端子にコネクターがスムーズに接続されているか確認して、電源をONして下さい。
- RM-100EXのスタッキングコードを著しく折り曲げないでください。断線する場合があります。
- RM-100EXのスタッキングコードはハム等、誘導する場合があります。磁界・磁場などから遠ざけてください。

〈RM-100EX パネル背面の名称と使い方〉

① TRIM

各チャンネルの入力レベルに合わせるボリュームです。規定入力レベルを-50 dBm~-20 dBmまで連続的に可変します。最大入力レベルは+12 dBmです。入力レベルに合わせて適正な位置にセットしてください。

エコー等効果音機器に送る各チャンネルの送りレベルを調整します。

② TREBLE

高域の音質をコントロールします10KHzにて±15dB可変できます。またOのポジションでフラットになります。

⑤ PAN

各チャンネルの入力信号をL(左)R(右)に振り分け音像の定位をします。

③ BASS

低域の音質をコントロールします100Hzにて±15dB可変できます。またOのポジションでフラットになります。

⑦ CH LEVEL

LEFT, RIGHT MASTERのミキシング量をチャンネルレベルボリュームで音量バランス調整します。

④ MONITOR(PRE VOLUME)

チャンネルレベルボリュームの前から信号を取り出し、各チャンネルのモニター送りレベルを調整します。

⑧ MIC INPUTS

CH1~CH10の入力端子です。マイクロホン-50 dBm~-20 dBmの規定入力信号を接続してください。最大入力レベルは+12 dBmです。

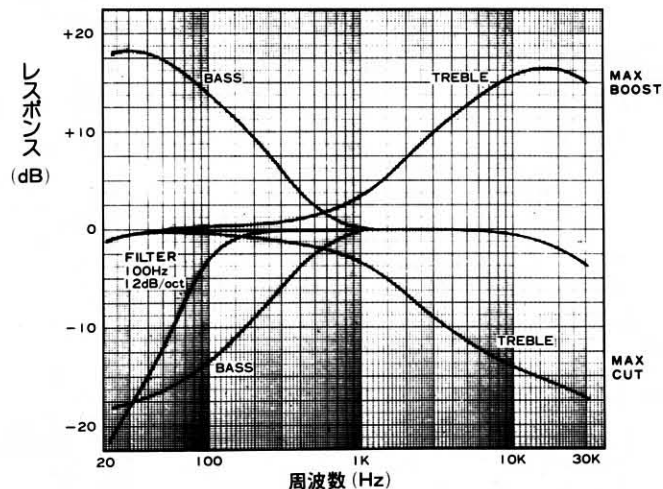
⑤ EFFECTS(POST VOLUME)

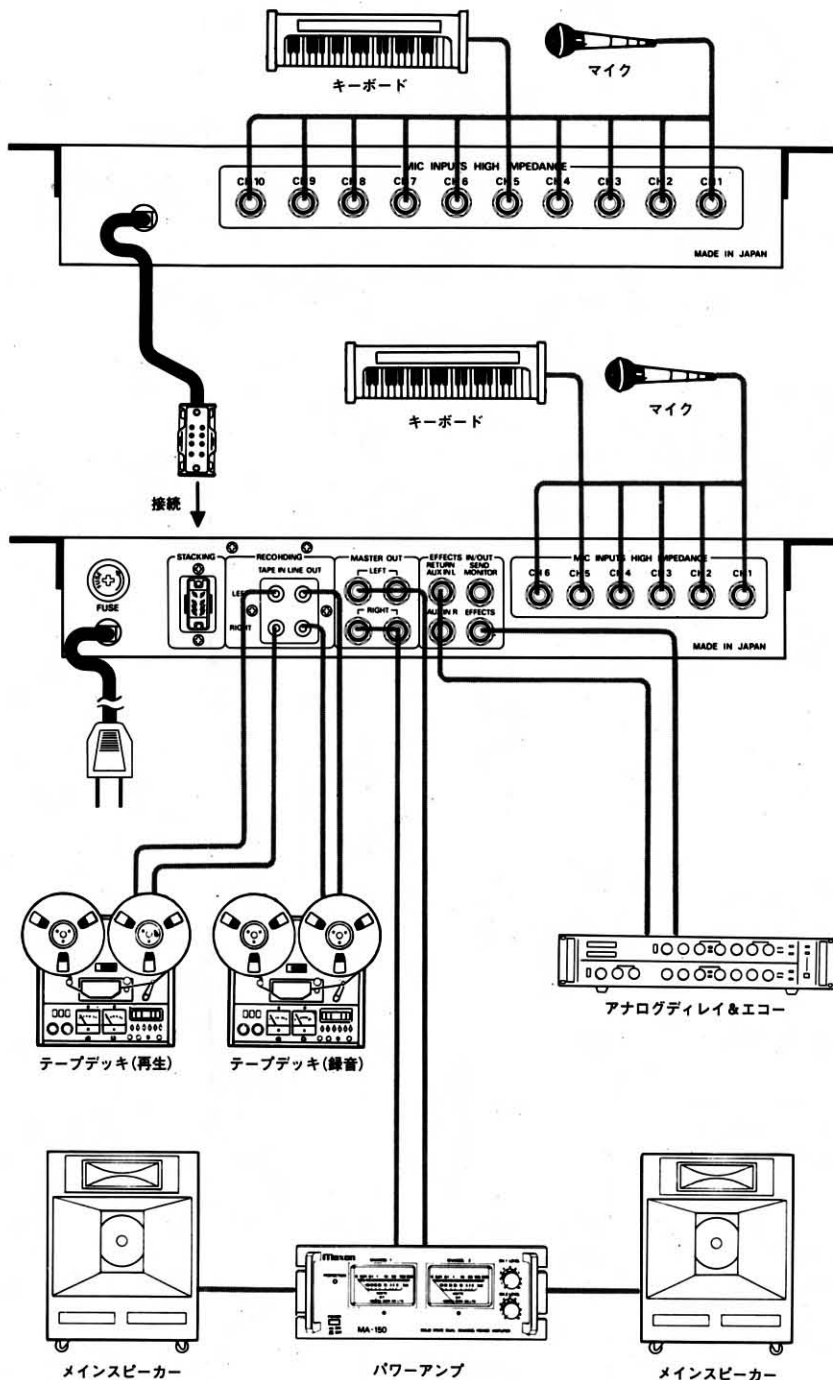
チャンネルレベルボリュームの後から信号を取り出し

⑨ STACKING CONECTOR

RM-60との接続に使用します。かならず電源をOFFにして抜いたり差込んだりしてください。

〈周波数特性〉





- ハム雑音
入力換算ノイズ 124dB (1HF-Aカーブ)
- 最大電圧増幅度 (1KHz)
MIC INPUT - MASTER OUT 60dB
// - MONITOR OUT 60dB
// - EFFECTS OUT 42dB
EFFECTS RETURN - MASTER OUT 30dB
TAPE INPUT - MASTER OUT 30dB
- トーンコントロール
BASS 100Hz ±15dB
TREBLE 10KHz ±15dB
- フィルター
LOW CUT FILTER 100Hz 12dB/OCT
- VUメーター
0VU=+4dBm (1KHz)
- 入出力端子仕様

| | インピーダンス | 定格レベル | 使用コネクター |
|---------------|--------------|------------------|---------------|
| MIC INPUT | 47K Ω | -50 dBm | ホーンジャック |
| EFFECTS INPUT | 47K Ω | -20 dBm | ホーンジャック |
| TAPE INPUT | 47K Ω | -20 dBm | ピンジャック |
| MASTER OUT | 10K Ω | + 4 dBm | ホーンジャック |
| MONITOR OUT | 10K Ω | + 4 dBm | ホーンジャック |
| EFFECTS OUT | 10K Ω | -20 dBm | ホーンジャック |
| LINE OUT | 10K Ω | -20 dBm | ピンジャック |
| PHONES | 8 Ω | 0.25W \times 2 | ホーンジャック(ステレオ) |
- 最大出力レベル
+17dBm (1KHz 600 Ω)
- 定格電圧 消費電力
AC100V 50/60Hz 9VA (RM-60)
13VA (RM-100EX接続時)
- 外形寸法 (RM-60, RM-100EX共通)
482(W) \times 320(D) \times 95(H)
- 重量
RM-60 5.3kg
RM-100EX 4.8kg
- FUSE
AC125V 0.5A (RM-60)